

小学生・中学生・高校生のための

第23回吃音親子サマーキャンプのご案内

これまでどもる子どもと出会ってこなかった子どもたちは、参加しているどもる子どもの多さに、「私だけではなかった」とまずほっとします。吃音に向き合う話し合いでは、同じような体験をしているだけに、みんなの話に耳を傾け、「私も同じだ」と自分も語り始めます。音読や発表が苦手だと思っていた子どもも、表現活動の演劇に取り組みます。

どもっているそのままを受け止められる空間で、自分のことばや表現に取り組み、みんなで支え合い、ひとつの劇を上演し終えたとき、「私にもできる」という達成感、充実感を持つことができます。22年間、吃音親子サマーキャンプはいろいろなドラマを生み出してきました。近畿や東海地方だけでなく、九州、四国、関東と全国から集まってきました。親もことばの教室の教師や言語聴覚士も一緒になって楽しめます。

昨年は、東は千葉、埼玉から、西は福岡、大分、佐賀をはじめ、関東地方、中部地方、近畿地方、四国地方などから、どもる子ども（小学生、中学生、高校生）が42名、きょうだい2名、保護者38名、ことばの教室の教師、言語聴覚士、養護教諭、支援学級や通常の学級の教師など、合計116名が参加しました。

このキャンプは父親の参加が多いのが特徴です。是非ご家族でご参加下さい。

□昨年の吃音親子サマーキャンプの感想□

味方ができた

古田 尚輝（滋賀県・小学5年生）

ぼくがこのサマーキャンプに来たきっかけは、学校の授業で発言したときに、「なんでそんな言い方をするの」と聞かれたことです。

ショックでおかあさんに相談したら、お母さんがことばの教室を調べてくれました。近くの学校にあったので、予定の空いている日に行きました。そしたら、いろいろなどもりに関する本やこのサマーキャンプのことも教えてくれました。

サマーキャンプには初めは二つの目的がありました。一つは自分と同じ気持ちの人と会うこと。ぼくの学校にはどもりの人がいないので、ぼくの気持ちをだれよりも分かってくれる、同じどもりで同じ学年の人と会うことでした。二つ目は、ふだん「なんでそんな言い方をするの」と言われたとき、どうしているか、みんなに話を聞くことでした。

心配していた友だちも実際に行ってみると、4人の友だちがすぐにできてうれしかったです。

それと話し合いをして学んだのは、大きく二つありました。まずみんなは学級の人たちの前でどもりのことを説明したり、自分でもできることはやっていること。そしてぼくには大きな吃音サマーキャンプという心強い味方があるということです。

また来年みんなと会えるといいなと思います。

吃音親子サマーキャンプが 大切にしていること

私たちどもる人と、ことばの教室の教師や言語聴覚士がスタッフを組んで取り組む、吃音親子サマーキャンプは世界的にも珍しいものです。私たちは、同じようにどもる仲間と出会い、いっぱい話をし、いっぱい話を聞き、その中で新しい生き方をつかんできました。

セルフヘルプグループで私たちが得てきたものを子どもたちに伝えたい、そして実感してほしいと願って、キャンプを企画し、22年続けてきました。大切にしていることばは、次の3つです。

- あなたはあなたのままでいい** (自己肯定)
- あなたはひとりではない** (他者信頼)
- あなたには力がある** (他者貢献)

子どもたちにとっては、自分のどもりと向き合うキャンプです。楽しいだけのキャンプではありません。自分をみつめ、自分のどもりをみつめる時間になればと思っています。ひとりでは難しいことでも、仲間の支えがあればできることも多いものです。

私たちは親子で参加することをとても大切にしています。学童期・思春期と成長するにしたがって、吃音の問題は変化していきます。その子どもの人生の、よりよい伴走者となっていくためには、親の参加が不可欠なのです。

子どもが大きくなったから、一人で行かせようとの思いは理解できるのですが、子どもだけの参加は認めていません。高校生であっても親子で参加していただきたいと願っていますが、高校生の場合のみ、事務局と相談の上、子どもだけで参加を許可することもあります。親自身も、子育てだけでなく、自分の人生を振り返り、生き方をもう一度考えてみるきっかけになればと思います。どもる子どもをもつ親同士、交流することで、親のセルフヘルプグループができることになります。親は、単なる付き添いではなく、一緒にプログラムに参加していただきます。親の話し合いや学習会だけでなく、子どもたちの芝居の上演の前に、表現のパフォーマンスもあります。親も自分の声やことばを大切にしてほしいと願うからです。このような願いのもと、吃音親子サマーキャンプの3つの柱は、次のとおりです。

吃音についての話し合い

子どもは子どもで、年代ごとに集まって話し合い、親は親で話し合いをします。

ことばのレッスンと芝居の上演

表現活動として演劇に挑戦します。自分のことばや表現に取り組み、練習をし、最終日に上演します。

親の学習会

子育てで大事にしたいこと、物事をどうとらえるかの練習、などいろいろな心理療法を使いながら学習を深めます。

日時 2012年8月24・25・26日(金・土・日)
8月24日(金)13:00～26日(日)13:30

場所 滋賀県彦根市立荒神山自然の家
〒522-0047 滋賀県彦根市日夏町字宮前4794番地
TEL 0749-28-1871

主催 吃音親子サマーキャンプ実行委員会

参加費 ひとり15,000円(大人・子ども同額)
(2泊3日の宿泊費用・食事費用・資料代、保険などを含み、全ての費用)
どもる子どものきょうだいの参加費用は、12,000円

後援 滋賀県教育委員会
NHK厚生文化事業団近畿支局
朝日新聞厚生文化事業団

申し込み方法 所定の申し込み用紙に、ご記入の上、お申し込み下さい。
氏名と年齢については、損害保険の関係上、参加される家族全員分が必要
です。
申し込み用紙は、事務局にあります。お問い合わせ下さい。

申し込み締め切り 8月10日(収容に限りがあり、宿舍が定員になり次第締め切ります)

申し込み・問い合わせ 日本吃音臨床研究会事務局
〒572-0850 大阪府寝屋川市打上高塚町1-2-1526
TEL/FAX 072-820-8244

参加にあたって、ご心配なことがありましたら、遠慮なくお問い合わせ、ご相談下さい。
夜の8時過ぎなら連絡がつきます。

参加費の送金について 申し込み書が届き次第、事務局から振替用紙をお送りします。そ
の振替用紙をご利用の上、ご送金下さい。なお、ご都合で参加できなくなった場合は、キ
ャンセルに必要な経費を差し引いて全額返金致します。

★ ことばの教室の先生、言語聴覚士の皆様のご参加は大歓迎です ★

ことばの教室の先生や言語聴覚士の方をはじめ、臨床家の方々の参加を歓迎します。ま
た、現在ご指導中の子どもや終了された子ども、そのご両親の方にご紹介いただければ幸
いです。

日程・プログラム

	24日	25日	26日
6		起床・洗面・スポーツ	起床・洗面・スポーツ
7		朝食	朝食
8		活動4 作文教室	活動9 〈子〉劇の練習 〈親〉表現活動練習
9		活動5 話し合い	
10			活動10 劇上演
11			
12		昼食	活動11 ふりかえり 昼食
13	河瀬駅バス出発	活動6 〈子〉劇の練習 〈親〉学習会	自然の家バス出発
14	入所のつどい		※13:30終了とします。 河瀬駅への送迎バスの 出発は、13:45。河瀬駅 には14:00到着予定。
15	開会のつどい 活動1 出合いの広場	活動7 〈子〉野外活動 〈親〉学習会	
16			
17	夕食	夕食	
18	活動2 話し合い		
19		活動8 〈子〉劇の練習 〈親〉フリートーク	
20	活動3 劇プロローグ スタッフによる上演		
21	入浴	入浴	
22	消灯	消灯	
23			

小学生・中学生・高校生のための 第23回吃音親子サマーキャンプ

□■□ 参加申し込みにあたっての確認事項 □■□

参加申し込みにあたって、次の7項目について、よくお読みいただき、ご理解いただいた上で、お申し込み下さい。申し込み用紙に確認の署名捺印してお申し込み下さい。

1. 子どもだけの参加はできません

このキャンプは親子での参加が原則です。高校生の場合は事務局と相談の上、参加をお受けしますが、小学生・中学生は子どもだけの参加はできません。親が参加できない場合は、保護者に代わる人（親戚の人やことばの教室の教師など）とご参加下さい。

2. 事故についての責任

スタッフは万全の注意を払って、事故のないように努めますが、もし万一事故発生の際には、吃音親子サマーキャンプ実行委員会としては一切の責任は負えません。ボランティア活動行事保険には参加者全員が加入します。その保険による保障以上は保障はできませんのでご了承下さい。

3. 携帯電話の使用禁止

日常生活から全く切り離された空間で、自分のどもりについて、子どものどもりについて、また、自分自身の生き方について振り返り、考えること、これが吃音親子サマーキャンプが一番大切にしていることです。何年か前から携帯電話が目立ち始めましたが、キャンプ期間中は、携帯電話の使用を親子共禁止します。親子でよく話し合っ、携帯電話を手放せない方は、キャンプへの参加をご遠慮下さい。緊急の連絡は、自然の家の電話が使えます。キャンプの開始から終了まで、携帯電話の使用を一切禁止とします。

4. 宿舎は自然の家、制約があります

滋賀県彦根市立荒神山自然の家での宿泊は2段ベッドで、ホテルや旅館のようにサービスはありません。コーヒーやアルコールなどを、日頃からたしなんでおられる方にはご不満もあろうかと思いますが、自然の家から出されるものだけでご辛抱下さい。子どもたちも、おやつなしで3日間を過ごします。

生活空間は決して快適とはいえないかもしれませんが、日頃の生活では得られないものをこのサマーキャンプで得ていただけたらと思います。

5. 館内禁煙 子どもの健康への配慮

子どもの健康も考えて、館内では全面禁煙と致します。室外の所定の場所で喫煙できるようにしますが、できるだけ自制していただき、喫煙場所がたまり場にならないよう、お願いします。

6. 持ってきてはいけないもの（厳守して下さい）

《おやつ》自然の家では、部屋の中での飲食は禁じられています。野外活動の後などに、こちらで用意します。

《ゲーム》自然を大いに満喫しましょう。また、たっぷり語り合しましょう。そのため、ゲーム類は持ってこないで下さい。

7. 睡眠の確保 子どもも親もスタッフも

私たちのキャンプは、指示・命令があまりなく、比較的自由に行われていますので、ついおはめを外すことが起こります。以前は深夜遅くまで起きている子どもがいました。これは、本人が翌日のプログラムに参加するのが辛いだけでなく、周りの子どもたちにも大いに迷惑がかかります。就寝時刻は厳重に守るようにしましょう。消灯は22時です。親やスタッフもミーティング終了時で消灯とします。話したい方は早朝をお願いします。

□■□ 会場・集合時刻・集合場所・解散時刻 □■□

☆サマーキャンプ会場 滋賀県彦根市立荒神山自然の家
〒522-0047 彦根市日夏町字宮前4794 電話 0749-28-1871

☆8月24日、JR東海道本線『河瀬』駅 12:30集合
バスをチャーターして、少年自然の家へ、『河瀬』駅を12:40出発

☆『河瀬』以西より参加される方は、次の列車が便利です。新快速ご利用の場合は、能登川駅で普通に乗り換えます。乗り換えなしの普通列車のご利用も便利です。

念のため、最新の時刻表でご確認下さい。

新快速 姫路 9:57→三宮10:38→大阪11:00→京都11:30→
能登川12:10 普通に乗り換え 能登川12:24→河瀬12:31
普通 姫路 9:19→三宮10:27→大阪10:53→京都11:36→
能登川12:24→河瀬12:30

☆『河瀬』以東より参加される方は、時刻表をご覧になって、『河瀬』駅に、12:30頃に到着するよう、各自出発して下さい。

念のため、最新の時刻表でご確認下さい。

(例)新幹線 東京 9:33→米原11:54
乗り換え 米原12:00→河瀬12:12

☆『河瀬』駅から、自然の家までは、バスで7分くらいです。チャーターバスを用意しました。集合時刻に遅れないよう、ご注意下さい。どうしても『河瀬』駅12:40出発に間に合わない方は、タクシーをご利用下さい。その場合は、事前にご連絡下さい。

☆帰りの8月26日は、自然の家を13:45に出発して河瀬駅に14:00頃、到着予定です。そのようにお帰りの列車の予定をお立て下さい。

小学生・中学生・高校生のための
第23回吃音親子サマーキャンプ申し込み書

住所
〒

ふりがな
氏名 _____ 男 ・ 女

年齢 _____ 歳（小学・中学・高校 ____年生）

電話番号 _____

最近の子どもの様子

今、困っていることや悩んでいること、キャンプで知りたいこと

このキャンプを知ったきっかけ

キャンプの参加回数 _____回

これまでどのようなところへ相談に行かれましたか。

相談機関名 _____
そこで、どのようなことを言われたか（覚えている範囲で）

ことばの教室への通級

() 現在、通っている ことばの教室名 _____
期間 ____年生から現在まで

() 以前、通っていた ことばの教室名 _____
期間 ____年生の頃

() 通ったことがない

一緒に参加される方・本人との関係・年齢(保険加入に必要です。全参加者ご記入下さい)

氏名(ふりがな)	本人との関係(続柄)	年齢(学年)

会場までの交通手段として、現在考えておられる方法は次のどれですか。

() 直接、現地へ行く

() 12:30までに、最寄り駅であるJR河瀬駅に集合し、チャーターバスを利用

() その他()

承諾書

1. 親子での参加
2. 事故の責任
3. 携帯電話の使用禁止の件
4. 宿舎の件
5. 館内禁煙
6. 持ち物の件
7. 睡眠の確保

以上の確認事項を承諾し、キャンプの参加を申し込みます。

保護者氏名 _____ 印